

令和5年3月31日

2022年度 介護老人福祉施設サルビア 事業報告

介護老人福祉施設サルビア
施設長 清澤秀彦

1. 2022年度事業所目標の成果と課題

目標① ICT活用と専門的スキルを融合し、科学的介護（根拠ある介護）の推進ができる。

〈成果〉

- ・ICT活用に関する好事例の共有（ターミナル期、体調不良時、離床介助時間等）
- ・WEB研修の活用

〈課題〉

- ・記録システムのLIFE対応の整備

目標② 「外部環境に負けない力を持つことができる。」

〈成果〉

- ・口腔ケアマイスター初級の資格取得研修の実施、推奨資格の斡旋
- ・BCPの作成

〈課題〉

- ・マニュアルの定期更新

目標③ 「働きやすい職場環境にすることができる。」

〈成果〉

- ・ビジネスチャットツール（チームス）の導入
- ・介護機器の試行
- ・生産性向上を目的としたスッキリ向上委員会の定期開催

〈課題〉

- ・浴室の増設整備
- ・5S活動の平準化

2. 利用実績 ※（ ）は2021年度比

(1)入居率：95.0%（△0.4%）

11月～1月かけて新型コロナ集団感染の発生に伴う新規入居者の受け入れ延期に加え、下期に退居者数が集中したことが入居率低迷の主要因

(2)平均要介護度：4.00（+0.06）

(3)平均年齢：90.03歳（+0.44歳）

(4)新規入居者数：28名（△6名）

在宅8名（内、サルビアショート5名、さんぼみち2名）、老健6名、介護医療院1名、病院3名、有料老人ホーム・サ高住9名（内、あんじゅり2名、泉の里1名）、グループホームサルビア1名

(5)退居者数：34名（±0名）

サルビアにて死去23名67.6%（△2名）、入院先死去1名2.9%（△5名）、病院・他施設へ10名（+7名）

(6)入院者数及び入院日数：延べ29名（△6名）、延べ640日（△42日）

内、肺炎9名241日（±0名+197日）※肺炎のみは2名26日、新型コロナ3名（+2名）、骨折1名（△2名）、その他16名（△10名、殆どが基礎疾患）

3. 主な活動報告

5月24日	入居者レントゲン
6月19日	避難訓練
7月1日	広報誌（第50号）
8月5日	サルビア花火大会
9月19日	敬老会
10月11日	焼き芋会
10月26日	避難訓練（水害訓練含む）
11月06日	サルビア秋祭り
11月09～11日	全館床清掃
12月21日	クリスマスプレゼント配布
12月28日	餅つき
1月6日	繭玉作り
2月3日	節分豆まき
3月1日	広報誌（第51号）
不定期適宜	サルビアサロン
毎月適宜	理美容サービス（利用組合来所）
適宜開催	リフレッシュクラブ

※新型コロナウイルスの感染状況に応じて実施

4. 委員会、会議の状況 ※新型コロナウイルスの感染状況に応じて実施

(1)法人全体の委員会（4委員会）

福利厚生委員会、安全衛生・防災・環境美化委員会…概ね毎月1回
苦情解決第三者委員会、リスクマネジメント委員会・虐待防止委員会…年1回

(2)特養の委員会（8委員会）

事故対策委員会、身体拘束廃止・虐待防止委員会、ケアスタディ委員会、医療的ケア委員会、食生活委員会、ほのぼの委員会、スッキリ向上委員会…概ね月1回
入居検討委員会…毎月1回

(3)会議

運営会議…毎月1回
特養会議、ユニットリーダー会議、ユニット会議…毎月1回
チームリーダー会議、チーム会議、フロア会議…年数回

5. 職員研修の状況

(1)外部研修、他施設交流

16講座延べ28名参加 ※法人で契約しているWEB研修の視聴は除く
ほっとケアの会（松本圏域のユニット型施設職員の交流研修）0回

(2)内部研修

法人共通：8テーマ

（新人研修、事業説明会、苦情対応、ターミナルケア、感染対策、身体拘束廃止・虐待防止、評価者訓練）

特養のみ：9テーマ

（新人研修、ユニットケア、褥瘡、事故対策（KYT、ヒヤリハット、事故時の対応、事故後の対応）、エンゼルケア）

6. 外部からの受け入れ

(1)面会者数

2,839人（カウント数のみ、ボランティア及び業者除く）

(2)実習生受入

8団体11件17名 延べ200日

(3)ボランティア

個人：0名

団体：0団体、0名

(4)松本市介護保険派遣相談員

0名

7. 苦情受付の状況

合計：1件（ケアの内容に関する事項）

迅速かつ真摯な対応を行い解決しており、サービス利用も継続しています。

以上

令和5年3月31日

2022年度 住宅型有料老人ホームあんじゅり 事業報告

住宅型有料老人ホーム あんじゅり
管理者 小澤 倫世

1. 2022年度事業所目標の成果と課題

目標①入居者の笑顔を引き出す支援をしていきます。

成果：・入居者と職員が準備から一緒に活動することができた。また、外部への発信ができた。(季節の花・野菜を育て楽しむ。施設の花を使った手工芸など)
・入居者の構成を反映して施設内のレイアウトを検討。またサービス内容に反映。(自立支援への取り組み)

課題：・コロナの感染拡大により、余暇活動のみならずサービス提供ができない期間があった。・設備や器具の劣化や不具合。

目標②個々の職員の段階に応じた人材育成に取り組み、全員で質の向上を目指します。

成果：・動画研修や資料研修が中心となったが、全員が学ぶ機会を持てた。

課題：・記録システムの活用の幅を広げる。・施設内での研修の場を定期的に設ける。

2. 利用実績※()は2021年度比

(1) 入居率：98.5% (△0.5%)

- ・新型コロナ感染拡大により退院者の受け入れや入居へのアプローチが困難な状況があった。
- ・退居予定日が移動先のコロナ感染状況により見通しがつかず、入居の問合わせに対して調整する事が難しかった。(問合わせ内容として急ぎの入居希望が多い。)

(2) 平均介護度：2.83 (+0.21)

(3) 平均年齢：89.68歳 (+0.6歳)

(4) 入居者数：7名 (+1名) 病院から4名、自宅から2名、他施設から1名 退居者数：7名 (+2名) 逝去4名 (あんじゅりでの逝去2名)、特養へ3名

(5) 入院日数：323日 (+120日)

3. 行事報告

(1) レクリエーション

令和4年 4月10・11日 お花見外出 4月16日 お花見弁当
令和4年 5月18日 花の寄せ植え 5月19日 野菜植え
令和4年 6月24・25日 ラベンダースティック作り
令和4年 7月7日 七夕飾り 7月12日 室山探検ツアー
令和4年 8月2日 かき氷会
令和4年 9月19日 敬老会 (敬老会献立)
令和4年 10月19日 ケーキバイキング
令和4年 12月24日 クリスマス

令和5年 1月 1日 お正月イベント(お正月献立) 1月13日 繭玉作り
令和5年 2月 3日 豆まき
令和5年 3月10日 桜餅作りと雛飾り作り
毎週水曜日 移動販売

(2) 運営懇談会

令和5年3月 開催予定の運営懇談会は、新型コロナウイルスの影響により中止。
入居者・ご家族へ書面にて報告。
(令和5年2月 4月からの入居利用料改定を案内。)

(3) 避難訓練

令和4年 6月28日
令和5年 2月 8日

(4) 訪問介護事業所指定更新 令和5年3月
(有効期間令和5年4月1日～令和11年3月31日)

4. 委員会・会議

- (1) 法人全体：運営会議（月1回）
 - 福利厚生委員会（第3水曜日）
 - 安全衛生・防災・環境美化委員会（第4水曜日）
 - 苦情解決第三者委員会（年1回、10月）
 - リスクマネジメント・虐待防止委員会（年1回、4月）
- (2) 有料・サ高住：向上志隊（月1回）
 - 施設レク委員会（第1火曜日）
- (3) ヘルパー会議（月1回）
- (4) 施設訪問管理者会議（月1回）

5. 職員研修

感染対策研修、虐待防止・身体拘束廃止研修、認知症研修、接遇研修、BCP
口腔ケアマイスター、職場のリーダーに求められる統率力の向上
その他、ヘルパー会議での伝達研修実施

6. 苦情受付の状況 なし。

以上

令和5年3月31日

2022年度 住宅型有料老人ホーム泉の里 事業報告

住宅型有料老人ホーム泉の里
管理者 奥原 和幸

1, 2022年度事業所目標の成果と課題

目標①入居者様が「出来る事」を続けられることに支援していきます。

《成果》

- : ヘルパー会議を通して、ケアの統一を図り、残存機能の維持及び向上に繋げた。
- : 介護度更新の入居者が前回の認定調査チェック項目の変化がなく、介護度が大幅に上がるケースがほぼ無いことから「出来る事」が続けられる支援が結果としてできた。

《課題》

- : 個々の入居者の思いに沿った手順書作成に至らなかった

目標②入居者様の気持ちに「寄り添い」「共感」をし、我が家と思える空間を作ります

《成果》

- : コロナ禍であってもヘルパー会議、日常業務での打ち合わせの時間を有効に使用し、密に入居者の情報共有ができた。
- : コロナ禍で制限された暮らしの中でも、心がホッとする設えができ、我が家と思える空間が提供できた。

《課題》

- : コロナ禍でも継続して実施できる学びの機会への参加

2, 利用実績

- ① 入居率：94.8%
- ② 平均要介護度：2.76
- ③ 平均年齢：87.7歳
- ④ 新規入居者数：7名（在宅6名、病院1名）
- ⑤ 退去者数：6名（泉の里で逝去2名、入院→死亡1名、他施設へ3名）
- ⑥ 入院日数：84日

3, 行事報告

- 令和4年5月8日 母の日レク（カーネーション作り、カットケーキ）
- 令和4年6月19日 父の日レク（梅雨にちなんだ作品作り）
- 令和4年7月17日 流しそうめん
- 令和4年8月11日 納涼会
- 令和4年9月19日 敬老会
- 令和4年11月4日 たこ焼きレク
- 令和4年12月25日 クリスマス会
- 令和5年3月19日 雛祭りホットケーキレク

運営懇談会

- ① 令和5年3月 新型コロナウイルス感染拡大にて中止

(書面での報告、令和5年2月ご家族様宛に郵送)

避難訓練

- ① 令和4年6月19日 新型コロナウイルス感染拡大にて通報訓練のみ実施
- ② 令和4年11月30日 新型コロナウイルス感染拡大にて通報訓練のみ実施

4. 委員会、会議の状況

① 法人全体の委員会（4委員会）

福利厚生委員会、安全衛生・防災・環境美化委員会…概ね毎月1回
苦情解決第三者委員会、リスクマネジメント委員会・虐待防止委員会…年1回

② 有料・サ高住の委員会（2委員会）

施設レク委員会、向上志隊…概ね毎月1回

③ 会議

運営会議…毎月1回
ヘルパー会議…毎月1回

5. 職員研修

虐待防止研修（資料研修）
職員接遇研修
感染症対策研修

6. 苦情受付の状況

なし

以上

令和5年3月31日

2022年度 住宅型有料老人ホーム愛香里 事業報告

住宅型有料老人ホーム 愛香里
管理者 水谷 奈美江

1. 2022年度事業所目標の成果と課題

目標①施設生活が維持出来るような環境作り

成果：・前年度の課題としていたモニタリングによる早期のサービス見直しができる。
・施設内のコロナ対応中でも職員間で周知、協力しながら対応できた。
課題：・研修の告知までで職員全員に積極的な参加の声掛けができなかった。

目標②施設内外のレクリエーションの充実

成果：・面会が制限されているなかで少しでも施設内の様子が伝わるような情報発信ができた。
課題：・コロナの制限されたなかでも工夫したレクリエーションを実現できなかった。
・利用者のために時間を有効に使用した成果が得られなかった。

2. 利用実績（ ）は2021年度比

- ①入居率：98.5%（+1.5）
- ②平均介護度：2.79（+0.04）
- ③平均年齢：90.4歳（+0.3歳）、
- ④入居者4名、退居者数：4名（±0）
愛香里の逝去1名、病院で逝去1名、特養へ1名、在宅へ1名
- ⑤入院日数：128日（△66日）
基礎疾患にて入院

3. 活動報告

・レクリエーション

令和4年	5月30日	お寿司（テイクアウト）
令和4年	7月21日	スイカ割り
令和4年	9月19日	敬老会（プレゼント）
令和4年	10月31日	ハロウィン（お菓子のつかみ取り）
令和4年	12月18日	ケーキバイキング
令和5年	1月9日	まゆ玉作り
令和5年	2月3日	豆まき

※コロナウイルス感染拡大防止の為外部ボランティア中止

・運営懇談会

コロナウイルス感染拡大防止の為中止

令和5年 3月 ご家族宛に書面にて報告

・避難訓練

令和4年 7月11日 通報訓練、初期消火

令和4年 11月21日 通報訓練、初期消火

※感染対策の為消防署立ち合いなし（消防署通知済）

・入居利用料改定の案内

令和5年 2月 ご家族宛に送付

・訪問介護事業所更新

令和5年 2月

4. 委員会・会議

法人全体：運営会議（月1回）

 福利厚生委員会（第3水曜日）

 安全衛生・防災・環境美化委員会（第4水曜日）

 苦情解決第三者委員会（年1回）

 職員参加型プロジェクト（年6回）

有料・サ高住：向上志隊（第2水曜日）

 施設レク委員会（第1火曜日）

ヘルパー会議（月1回）

施設訪問管理者会議（月1回）

5. 職員研修（内部）

感染症対策研修、訓練（2回）虐待防止、身体拘束研修（2回）苦情対応研修（1回）

職員接遇研修（3回）各自研修計画に沿って個人研修

6. 苦情受付の状況

なし

以上

令和5年3月31日

2022年度 サービス付き高齢者向け住宅千歳緑 事業報告

サービス付き高齢者向け住宅 千歳緑
管理者 北澤 知美

1. 2022年度事業所目標の成果と課題

目標①：「楽しみ」が 持てる生活支援を提供する

成果：・コロナでデイサービスを何度か自粛していただいた中で、iPadを活用して皆さんと懐かしい歌などで楽しむことができた。

・コロナで制限されていた中でも施設内で工夫してレクリエーションができた。

課題：・有償に繋げるサービスの提供

・アセスメントやモニタリングの体制整備

目標②：サービスの質の向上に努める

成果：・法人主体の研修に参加し学ぶことができた。

・ヘルパー会議にて個々のケアの見直しができた。

課題：・意見が言い合える職場環境づくり

・職員の研修参加のバラつき

・情報共有や施設内研修の必要

2. 利用実績 ※（ ）は2021年度比

①入居率：96.6%（-1.5）

②平均要介護度：3.34（+0.05）

③平均年齢：91.75歳（+1.3歳）

④新規入居者数：8名（+5）

在宅から4名、病院から4名

⑤退居者数：8名（+6）

千歳緑にて逝去3名 病院にて逝去2名 他施設へ1名 在宅へ2名

⑥入院日数：105日（-93）

3. 行事報告

(1) レクリエーション

令和3年 4月	お花見
令和3年 5月	母の日イベント
令和3年 6月	父の日イベント
令和3年 7月	七夕飾り
令和3年 8月	千歳夏祭り
令和3年 9月	敬老会
令和3年 12月	クリスマス会
令和4年 1月	繭玉作り
令和4年 2月	豆まき
令和4年 3月	ひな祭り

(2) 運営懇談会

令和5年 3月 開催予定の運営懇談会は新型コロナウイルスの影響により中止
書面にて報告

(3) 避難訓練

令和4年6月9日

令和4年11月9日 ※感染対策の為消防署立ち合いなし（消防署通知済）

(4) 入居利用料改定の案内

令和5年 2月 ご家族宛に送付

(5) 訪問介護事業所指定更新

令和5年 3月

4. 委員会. 会議

(1) 法人全体 運営会議（月1回）

福利厚生委員会（第3水曜日）

安全衛生・防火・環境美化委員会（第4水曜日）

苦情解決第三者委員会（年1回）

リスクマネジメント・虐待防止委員会（年1回）

(2) 有料. サ高住 向上志隊（月1回）

施設レク委員会（第1火曜日）

(3) ヘルパー会議（月1回）

(4) 施設訪問管理者会議（月1回）

5. 職員研修

- ・感染症対策研修
- ・虐待防止、身体拘束研修
- ・接遇研修
- ・認知症研修
- ・苦情対応研修
- ・口腔ケアマイスター
- ・各自研修計画に沿っての個人研修

6. 苦情受付の状況

なし

以上

令和5年3月31日

2022年度 グループホームサルビア 事業報告

グループホームサルビア
管理者 西澤 守隆

1. 2022年度事業所目標の成果と課題

目標①：地域、入居者家族との交流・情報発信の見直し、実施

- ・ZOOM 面会ができる環境整備、ご家族への情報提供方法を検討し、実施していく。
- ・おたっしゅカフェの内容を検討し、再開に努める。

成果：・面会禁止の期間は、毎月ご本人の写真と手紙にて近況を報告している。

- ・ズームについては整備し、ズーム面会の環境は整えた。

課題：・おたっしゅカフェの内容についての検討。(飲食をどうするか、人数の制限等)

目標②：研修を活用し、人材育成に取り組む

- ・キャリアパスに応じた研修への参加と内部研修を明確化し、実施していく。
- ・職員同士のモチベーションの為に、サンクスカードを取り入れ、活用していく。

成果：・認知症介護指導者養成研修1名、口腔ケアマイスター1名修了

- ・サンクスカードの浸透はしていない。

課題：・研修を職員にアプローチすることが少なく、研修に参加してもらうことができていなかった。

- ・グループホーム会議ないで行える短時間の勉強会の検討が必要である。
- ・サンクスカードは今後も継続し、職員に浸透するようにしていく。

目標③：入居者と共に生活していく

- ・入居者のできそうなことを探っていき、一緒におこなっていく。
- ・一緒に調理等ができる時間、方法を検討していく。
- ・職員は一人で全て行うのではなく、一緒に行うという意識を持ちながら業務を行う。

成果：・入居者様のできそうなことを探り、調理や洗い物等一緒に行うことができた。

課題：・おやつ作り等を入居者様と一緒に楽しみながら行っていくようにする。

2. 利用実績 ※ () は 2020 年度比

- ①入居率：98.0% (+4.6%) ・退居者は減少したが、入居調整に時間を要した。
- ②平均要介護度：3.11 (+0.42) ・入居者の介護度が全体的に上がったため。
- ③平均年齢：87.67 歳 (+1 歳)
- ④新規入居者数：1 名 (△4 名) ・在宅から 1 名
- ⑤退居者数：1 名 (△4 名) ・特養へ入居 1 名
- ⑥入院日数：0 日 (±0)

2) 行事報告

- (1) グループホーム行事

令和 04 年 04 月 20 日	訪問理容（～22 日までの 3 日間）
令和 04 年 04 月 26 日	運営推進会議、身体拘束廃止・虐待防止適正委員会（書面）
令和 04 年 04 月 28 日	お楽しみ昼食会（お弁当）
令和 04 年 05 月 10 日	お誕生日会
令和 04 年 06 月 11 日	お誕生日会
令和 04 年 06 月 19 日	避難訓練、運営推進会議、身体拘束廃止・虐待防止適正委員会（書面）
令和 04 年 07 月 08 日	七夕饅頭作り
令和 04 年 07 月 18 日	訪問理容
令和 04 年 07 月 19 日	お誕生日会
令和 04 年 07 月 20 日	訪問理容
令和 04 年 08 月 01 日	コロナワクチン予防接種（入居者 2 名）
令和 04 年 08 月 03 日	コロナワクチン予防接種（入居者 1 名）
令和 04 年 08 月 07 日	すいか割り
令和 04 年 08 月 18 日	コロナワクチン予防接種（入居者 2 名） 運営推進会議、身体拘束廃止・虐待防止適正委員会（書面）
令和 04 年 08 月 19 日	コロナワクチン予防接種（入居者 1 名）
令和 04 年 08 月 23 日	コロナワクチン予防接種（入居者 1 名）
令和 04 年 08 月 24 日	グループホーム夏祭り、コロナワクチン予防接種（入居者 1 名）
令和 04 年 10 月 06 日	訪問理容（～7 日までの 2 日間）
令和 04 年 11 月 01 日	運営推進会議、身体拘束廃止・虐待防止適正委員会（書面）
令和 04 年 11 月 02 日	インフルエンザ予防接種（入居者 9 名）
令和 04 年 11 月 06 日	サルビア秋祭り
令和 04 年 11 月 24 日	お楽しみ昼食会（お寿司）
令和 04 年 12 月 10 日	コロナワクチン予防接種（入居者 1 名）
令和 04 年 12 月 11 日	誕生日会
令和 04 年 12 月 22 日	コロナワクチン 5 回目巡回接種（入居者 6 名）
令和 04 年 12 月 25 日	クリスマス会
令和 04 年 12 月 28 日	餅つき
令和 05 年 01 月 09 日	お誕生日会
令和 04 年 01 月 18 日	運営推進会議、身体拘束廃止・虐待防止適正委員会（書面）
令和 05 年 01 月 19 日	お誕生日会
令和 05 年 02 月 03 日	節分
令和 05 年 03 月 10 日	運営推進会議、身体拘束廃止・虐待防止適正委員会（書面）
令和 05 年 03 月 13 日	訪問理容
令和 05 年 03 月 15 日	訪問理容
令和 05 年 03 月 30 日	お楽しみ昼食会（手巻き寿司）
毎	月：家族への手紙（入居者様写真付き、面会禁止時）
毎月第一火曜日	：おたっしゃカフェ ※コロナウイルス感染予防の為、開催なし
毎	月：岡野医院往診、作業療法士来所、篠崎医院受診、城西病院往診

入居者誕生日月：誕生日会

床 清 掃：年1回（コロナウイルス感染予防により）

そ の 他

R4,9/3～6 コロナウイルス感染によりユニット閉鎖（職員1名）

R4,10/17～27 コロナウイルス感染によりユニット閉鎖（入居者1名）

R5,1/12～16 コロナウイルス感染によりユニット閉鎖（職員1名）

(2) 地域行事、町会行事

年 2 回：ごみゼロ運動 ※コロナウイルス感染予防の為、開催なし

年 1 回：総会、公民館掃除、氷室地区祭典手伝い ※コロナウイルス感染予防の為、開催なし

3) 委員会・会議

(1) 法人全体の委員会（4委員会）

福利厚生委員会、安全衛生・防災・環境美化委員会・・・概ね月1回
サルビア祭り実行委員会・・・コロナウイルス感染予防の為、開催なし

苦情解決第三者委員会・・・年1回

感染対策委員会・・・年2回

身体拘束廃止・虐待防止適正委員会・・・年6回（運営推進会議において）

(2) 運営会議・・・毎月1回

(3) 運営推進会議・・・年6回（コロナウイルス感染予防の為、書面にて）

(4) グループホーム会議・・・毎月1回

4) 職員研修

(1) 外部研修：2講座、2名参加

(2) 内部研修：4回

（内部研修内容）

接遇研修、感染対策研修、BCP、認知症研修

5) 外部からの受け入れ状況

・面会者数：152名

・実習生：1団体1件1名、9日間

・ボランティア：コロナウイルス感染予防の為、受け入れ中止

・松本市介護保険派遣相談員の受け入れ：コロナウイルス感染予防の為、受け入れ中止

6) 苦情受付の状況

・苦情合計1件（面会の日程調整についての事項）

迅速かつ真摯な対応を行ない、解決しています。

以上

2023年3月31日

2022年度 居宅介護支援事業所サルビア 事業報告

居宅介護支援事業所サルビア
管理者 船坂 菜津子

1. 2022年度事業所目標の成果と課題

事業所（Ⅱ）の算定事業所として運営基準を遵守し、質の高いケアマネジメントを行うとともに、多様化する個々の生活環境に合わせた支援を行う。

目標①：事業所内における勉強会を充実させ、ケアマネジメントの質の向上に繋げる。

成果：前年度に入職した新人介護支援専門員2名の育成も考慮して、事業所全体のケアマネジメントの質の向上に努めてきた。研修、勉強会はオンラインも活用し、年間を通じて多くの機会を設けることが出来、各介護支援専門員のスキルアップに繋がっている。

- ・事例検討については、年間を通して1人2ケースを事例提供した。
- ・ケアマネ会議は、有効活用するように努め、事業所内の情報共有に努めた。
- ・事業所内勉強会は、オンラインも活用して機会を設けることが出来、スキルアップにつながった。

課題：研修や勉強会の機会は設けられたが、ケアプラン勉強会が開催できなかった。スキルアップ為にもオンライン研修も活用しながら開催する必要がある。

目標②：安定した事業所の運営

成果：担当地域の地域包括支援センターから依頼がなかなか来なかったが、依頼があれば困難なケースでも受入れ信頼関係を築き、次につながるように心掛けた。また、ICTについては、前年度のノートパソコンに続き、スマートフォンが導入され、ICTの活用が進んでいる。

課題：新型コロナウイルスが5類になったとしても、引き続き配慮が必要な状況であり、自然災害への備えは必要な状況であるので、事業継続計画の共通理解は事業所全体で行う必要がある。

ICTの活用については、スマートフォンでケアカルテが使用できるようにし、活用に繋げる必要がある。

下期に入り施設入居や逝去が続き、利用者が減少してしまった。安定した事業所の運営に向け新規依頼のある際に受け入れが出来るよう、人員体制も整え運営基準減算にならないようにする必要がある。

目標③：事業所の更新（令和5年6月）に向けた自己点検の実施

成果：更新に合わせて早めに書類の整備を始めている。

- ・運営基準減算項目に該当しないように、担当介護支援専門員が他の介護支援専門員にも確認するようにしている。
- ・記録の整備は各介護支援専門員が進めている。

課題：運営基準減算にあたらないう、また思い込みで進めることのないよう、他のケ

アマネに常に確認しながら進める必要がある。

2. 利用実績

- ・要支援・事業対象者 573件 (△11.7%)
- ・要介護 1,160件 (+1.8%)
- ・平均介護度 1.62

3. 委員会・会議

- (1) 法人全体の委員会 (福利厚生委員会、安全衛生・防災・環境美化委員会) 月1回
- (2) 運営会議 (毎月)
- (3) 介護支援専門員会議 (毎週火曜日)

4. 教育・研修

- ① 事業所内研修 (3事業所合同勉強会)
 - 在宅でのターミナルケア (1回)
 - 虐待研修 (2回)
 - 事例検討会 (8回)
 - ケアマネジメント勉強会 (1回)
 - 接遇研修
- ② 外部研修・勉強会
 - 他法人との事例検討会等 (3回)
 - ケアマネ勉強会 (ケアマネなんでも相談会) (11回)
 - 地域包括支援センター主催の勉強会 (13回)
 - その他随時参加

5. 苦情 無

以上

2023年3月31日

2022年度 ヘルパーステーションサルビア 事業報告

ヘルパーステーションサルビア
管理者 岩岡 由香利

1. 2022年度事業所目標の成果と課題

目標①:地域から信頼される事業所を目指す

- 成果:
- ・ケアマネに利用者の様子や気がついたことなどを細目に報告しました。
 - ・3名の在宅での看取りの利用者のサービスに入り、家族や他部署との連携を図り専門職としての関わりができました。
 - ・接遇研修に参加したことを生かし、介護技術と共に接遇にも力をいれてまた訪問してほしいと思われるヘルパーになるように意識を持つことができました。
 - ・利用者、ご家族の声に耳を傾けそれぞれの思いに寄り添うことができました。
- 課題:
- ・報告、連絡、相談が思うようにできない時があり、大事なことが伝わらないことがあったのでしっかりと連携ができることが必要だと思いました。
 - ・サービスが抜けてしまったり、サービス時間の変更などがしっかりと伝わらずに利用者に迷惑をかけてしまった事があった。
 - ・外部研修への参加があまりできなかった。

目標②:安定した事業所の運営を目指す

- 成果:
- ・月に1回は実績を配りながら、サービスの空き情報を伝えたりして定期的に発信して新規の利用者につながったことがありました。
 - ・4名の新しいケアマネから利用者の紹介をしていただきました。
 - ・身体介護で毎日サービスに入る利用者をしっかりと確保することができました。
 - ・職員が1名コロナに感染したり、訪問先の利用者、家族などが感染して職員が濃厚接触者になったりしましたが事業所の運営には影響はでませんでした。
 - ・職員の動きはなく人材は安定していました。
 - ・有償サービスの依頼があった時は空き時間を利用して受け入れおこなないました。
- 課題:
- ・事業所の強みの部分を打ち出してしっかりと発信していき、選ばれる事業所になるように考えていくことが必要だと思う。

2. 利用実績 * () は2021年度対比

- ①利用者数平均: 57.6人 (前年度+11.6人)
- ②要支援: 2,902件 (前年対比141.4%)
- ③要介護: 3,301件 (前年対比84.3%)
- ④平均介護度: 2.20
- ⑤平均年齢: 86.8歳
- ⑥: 新規利用者: 30名 (前年度△4名)
- ⑦提供回数: 5,934回 (前年+288回)
- ⑧終結: 死去 17名 施設入所 5名
- ⑨有償サービス: 96回

3. 委員会、会議

- ・福利厚生委員会
- ・安全衛生委員会
- ・防災、環境美化委員会 (毎月1回程度)
- ・運営会議 (月1回)
- ・ヘルパー会議 (月1回)

4. 職員研修

- 外部研修 ・ 接遇研修・口腔ケアマイスター研修・虐待研修
- 松本市総合事業研修会 ・ 市立病院（在宅医療の研修）
- 内部研修 ・ 認知症研修（1回）・感染対策研修（居宅、さんぽみち、ヘルパー合同）
- ターミナル研修 （居宅、さんぽみち、ヘルパー合同）

5. 外部からの研修受け入れ

- ・新型コロナウイルスの関係から研修の受け入れは行いませんでした。

6. 苦情受付の状況

なし

以上

令和5年3月31日

2022年度 デイサービス美事 事業報告

デイサービス 美事
管理者 深沢 育子

1. 2022年度事業所目標の成果と課題

目標①「安定した黒字経営ができる。」

〈成果〉

- ・稼働率 72.66%
- ・入浴、個別運動の受け入れ人数は増加
- ・継続的に新規利用者の受け入れ可、リピーターケアマネ数も変動はあるものの維持可
- ・ボランティアの受け入れやまちづくり協議会委員、庄内公民館との関係作り、またインスタを利用し、外部への情報配信を実施
- ・LIFE 算定に伴う、ケアカルテとの勉強会に参加
また算定に伴い個別機能訓練計画書の様式を徐々に変更中
- ・美事独自の感染症BCPの様式を作成

〈課題〉

- ・キャンセル要因の分析、振替利用等の対策を検討
- ・介護度平均が低下している為、ターゲット層の見直し
- ・LIFE 算定の準備、各種加算の見直し
- ・BCP 現状に合った内容へ見直し

目標②「利用者様の生きがい支援に取り組むことができる。」

〈成果〉

- ・ゆめひろば庄内（公民館）との関係作り
（まちづくり協議会委員（任期2年）、研修会への参加、利用者様の作品展示、アロママッサージの受け入れ実施）
- ・外出プログラムのニーズ、実施頻度の増加（ずーら活用効果あり）
- ・体力測定の実施、利用者・ケアマネへのフィードバックの実施（年2回）

〈課題〉

- ・認知症を有する方への支援拡大
- ・地域との繋がりを意識した活動
- ・新たなプログラムの立案、実施

目標③「働きやすい職場環境にすることができる。」

〈成果〉

- ・有給取得平均 12 日（昨年比：1.5 倍程度増加）
- ・既存のマニュアル更新の実施、美事独自のマニュアルの作成・運用
- ・研修（集合またはオンライン）への参加が増えた

〈課題〉

- ・活用できるマニュアルの作成
- ・長期休暇が取得できるような体制づくり
- ・業務時間内にオンライン研修に参加できる体制づくり
- ・職員一人ひとりのキャリアアップに繋がるような研修参加への推進

2. 利用実績 ※()は 2021 年度比

- ①利用延べ人数：8534 名 (△554)
- ②稼働率：72.66% (△3.37)
- ③一日平均利用者数：27.62 名 (△1.28)
- ④平均介護度：1.49 (▼0.13)
- ⑤新規登録者数：39 名 (△9)

3. 行事・活動報告

- 4 月 桜あんパン教室、買い物外出、ダリア苗植え
- 5 月 クッキー教室、トマト・さつまいも苗植え、アロママッサージ体験
- 6 月 避難訓練（火災・水害）、なす・きゅうり苗植え、どらやき・クッキー教室
フラワーセンター外出プログラム、リゾートアロハ（安曇野市デイ）見学、
豊田町町内清掃、アロマボランティア
- 7 月 七夕飾り、抹茶クッキー教室、行事食（土用丑の日）
- 8 月 アイスバイキング、収穫野菜イベントパン教室、庄内まちづくり協議会出席
- 9 月 さつまいも・かぼちゃクッキー教室、さつまいも掘り、敬老の日イベント、
敬老の日行事食、豊田町秋の一斉清掃
- 10 月 美事運動会、クッキー教室、庄内地区防災訓練、さつまいも味噌汁、
アロマボランティア
- 11 月 避難訓練（コロナ感染警戒レベル5の為、消防立会いは中止）、
豊田町防災訓練、紅葉外出プログラム、信毎ワークショップボランティア
- 12 月 シュトーレンパン教室、初夢ジャンボ宝くじ販売
（コロナ感染警戒レベル5の為、しめ縄作り・餅つき中止）
- 1 月 初夢ジャンボ宝くじ抽選会、繭玉づくり、肉まん作り
- 2 月 チョコクッキー教室、節分イベント、アロマボランティア
- 3 月 雛祭り行事食、どらやき教室、うなぎ夕食プログラム、アロマボランティア、
信毎ワークショップボランティア

4. 委員会・会議

1) 法人全体の委員会活動（4 委員会）

- ・福利厚生委員会（第 3 水曜日）
- ・安全衛生委員会（第 4 水曜日）
- ・苦情解決第三者委員会（年 1 回）
- ・リスクマネジメント／虐待防止委員会

2) 美事内の係

感染対策、トリム、プログラム、調達、学習、物品、慶弔、マニュアル

3) 法人全体の会議

- ・運営会議（月 1 回）
- ・管理者サポート（月 1 回）

- 4) 内部会議
 - ・美事会議（第3金曜日）
 - ・介護会議（第4月曜日）
 - ・プログラムチーム会（第3月曜日）
 - ・トリムチーム会（随時）
- 5) その他
 - ・参加型プロジェクト会議（月1回）

5. 職員研修

【外部研修】 ※オンライン研修含む

- ・ケアカルテ研修会（オンライン）
- ・職場のリーダーに求められる統率力の向上（集合）
- ・「あおいけあの世界」研修会（オンライン）
- ・「その人らしさを支える」他職種連携研修会（オンライン）
- ・「私たちがリーダー育成にこだわる理由」（オンライン）
- ・庄内地区出前講座
 - 「知って下さい“緩和ケアのこと”」「今日からできる腰痛予防体操」（集合）
- ・人材採用攻略・定着率向上セミナー（オンライン）
- ・お茶の水ケアサービス研修（オンライン）
- ・「コロナ感染対策」地域包括ケア多職種連携研修会（集合）
- ・BCP研修（オンライン）
- ・「認知症ケアチームによる講演会」地域包括ケア研修会（集合）

【法人内部研修】

- ・外部講師による接遇研修（年3回）
- ・口腔マイスター研修
- ・新人研修
- ・虐待防止研修
- ・PTによる歩行についての研修（美事内部）
- ・キャリア形成訪問指導事業 コンプライアンスの推進（美事内部）

【庄内地区行事】

- ・地域づくりモデル地区事業 アロママッサージ体験
- ・庄内地区まちづくり協議会組織団体委員（任期2年）
- ・第1回 庄内地区まちづくり協議会参加（第2回目はコロナにて不参加）
- ・豊田町町内清掃参加
- ・庄内地区防災訓練参加
- ・研修会参加

【その他】

- ・リゾートアロハ安曇野の見学
- ・介護体験、実習生受け入れ
- ・安全運転管理者講習
- ・職員の運転適性検査の実施
- ・音楽療法講習

【ボランティア】

- ・アロママッサージボランティア（定期的に実施）
- ・信毎ワークショップボランティア（2回）

6. 苦情受付状況

合計：1件

（電話対応について）

迅速かつ真摯な対応を行い解決しており、サービス利用も継続しています。

以上

令和5年3月31日

2022年度 小規模多機能型居宅介護さんぼみち 事業報告

小規模多機能型居宅介護さんぼみち
管理者 小林 俊介

1. 2022年度事業所目標の成果と課題

目標①「地域とつながる活動」

<成果>

- ・さんぼみち便りは年3回発行。氷室地区重点にポスティングをし、関心を持って下さる住民の方も居てワークショップ企画まで出来ている。他にも営業ツールとして活用をし、関係機関に配布、説明に足を運ぶことが出来た。
- ・運営推進会議においてコロナ感染状況が落ち着いている時は数回だが開催することが出来た。協議内容もよりみちのこと、また地域の課題についても話し合うことができ、今後に向けて繋がっている。

<課題>

- ・コロナ禍でもあり、地域への行事に参加することが出来ず。(地域行事ほぼ中止)
- ・地域と施設の繋がりとしてさんぼみち自身としては希薄。

目標②「さんぼみちの特色を出し、運営の安定化を目指す」

<成果>

- ・登録定員25名まで行く月があった。
- ・よりみちの活動に利用者家族が参加することがあった。
- ・インスタは月2回以上、活動や様子を載せることができた。

<課題>

- ・問い合わせ数が伸びない
- ・中重度の方の受け入れ
- ・満足度アンケート調査結果からも挙がっていた余暇活動の充実が乏しいと集計が多く、内容を計画的に考えていく必要がある。

目標③「史上最高のチームを作るに向けて、チーム力を強化する」

<成果>

- ・コロナや体調不良時の欠勤等あってもスタッフが丸一となって勤務を回していた。
- ・さんぼみち会議ではそれぞれスタッフから意見が出るが多かった。

<課題>

- ・ミーティングの時間が取れなくなってきていて情報の共有が欠けてしまっている。
- ・現場職員の外部研修参加率が低い。

2. 利用実績 (2023年3月末)

①利用率：75.5% ・登録29名中18名

- ・小規模多機能の認知が他の事業所には低かった。
- ・問い合わせがあっても繋がらないケースが多い。

②平均要介護度：1.89

③平均年齢：87.3歳

④体験利用：4名

⑤終結：9名（特養や有料などへの入居。長期入院など）

3. 主な活動報告

4月13日	お花見
5月1日	さんぽみち便り発行
6月24日	避難訓練
7月7日	七夕飾り
7月18日	プチ夏祭り
8月29日	実地指導
9月19日	敬老会
10月25日	ハロウィン
11月30日	避難訓練
12月23日	クリスマス会
12月28日	餅つき
1月10日	繭玉作り
2月3日	節分

4. 委員会、会議

- ・運営会議（6回：書面会議も含む）
- ・安全衛生防災環境美化委員会（毎月）
- ・福利厚生委員会（毎月）
- ・さんぽみち会議（毎月）

5. 職員研修

- ・感染対策研修
- ・小規模多機能研修
- ・ターミナルケア研修
- ・個人情報保護研修
- ・リスクマネジメント研修
- ・虐待拘束防止研修
- ・長野県宅老所
- ・グループホーム連絡会主催の研修
- ・ケアマネージャー勉強会

6. 外部かからの研修受け入れ状況

- ・福祉大学校1名
- 松本医療福祉専門学校1名

7. 苦情受付の状況

- ・合計1件：社用車の運転について
- ・運転の仕方について職員間で周知し、申出者にも謝罪したことにより解決しています。

以上

2023年3月31日

2022年度 社会福祉法人梓の郷 経営管理部 事業報告

経営管理課長 高橋 健太
経営企画室長 高橋 優喜

1 運営方針

適正な人員配置と組織機能の充実化を進めます。

2 部署目標及び行動計画

職員の働きやすさ、働きがいに繋がる職場環境の整備と人材育成を目指します。

(1) キャリアパスとそれに連動した研修計画の立案と運用

① 個々の等級、役職に応じた研修の整備と案内

成果・コロナ禍においても適宜リモート方式を併用するなど開催形態を工夫しながら萱野江津子先生による接遇研修（全29回）を完遂した（対象は全職員だが内容は等級・役職ごとに調整）。

課題・新人研修など対面が望ましい研修についてはコロナ禍の影響を強く受け、翌年度へ延期となった。

- ・上記接遇研修について全職員対象としたことによるスケジュール調整の困難さがあった。
- ・次期リーダー候補者など対象をさらに絞った形での研修整備は不十分であった。
- ・法人として契約したWeb研修については職員への定着が不十分であった。

② 非正規職員のキャリアパスおよび人事考課制度の立案

成果・立案から対象職員に対する説明会を経て2022/6～運用開始とすることができた。

- ・対象者の理解／受け入れは概ね良好でありスムーズに運用開始となっている。

課題・非正規職員に用いる評価根拠シートの細かい内容については運用しつつ適宜精査／修正していく必要性あり。

(2) 人材確保に向けた各種認証制度の取得と外部への情報発信

① ハローワーク、教育機関等との連携強化及びSNS等による情報発信

成果・ハローワーク主催のジョブセミナーの講師として招聘されるとともに、教育機関へ出向いての就職説明会を実施した（各一回）。

- ・上記の結果、2023年度新卒入職者7名。
- ・ホームページ／Instagram活用による情報発信を継続しており、ホームページアクセス数は14,471回（2021年度）→18,168回（2022年度）と前年比125%、Instagramフォロワー数は法人全事業所で延べ5,354名となっている。
- ・ふくにん取得による外部アピールも継続中

課題・採用／利用者ご家族による日々の生活の把握／新規利用者獲得／公益的事業の外部発信を目的の四本柱としたホームページの見直し（リクルート専用ページなどの整備）の必要性あり。

② 福利厚生の実質化を図り、様々な認証制度を取得することで、職員の働きやすさと法人イメージUPに繋げる

成果・産後パパ育休の取得実績（一件）。

・職場いきいきアドバンスカンパニー取得に向けた準備を開始しており、代理事業者を通じて必要書類の整備が進行中。

・職員間情報共有推進を目的とした Microsoft Teams の導入。

課題・更なる働きやすさ向上のための福利厚生充実化に向けた取組み継続の必要性

・上記の福利厚生事例の外部への発信をおこなっていく必要性あり。

(3) 持続可能な法人運営のための取り組み

① 経費削減及び費用対効果を念頭に、適切な外部委託を推進する

成果・コロナ禍の介護保険事業による収入の落ち込みおよび原材料費高騰に伴う経費増加を補うための各種補助金・助成金の積極的活用をおこなった。

課題・介護分野における非専門的業務の洗い出しと必要に応じた外部委託を継続しておこなっていく。

② 各事業所の現状に沿ったBCPの作成

成果・全事業所においてBCPの策定が完了した。

課題・各事業所の実状に応じたBCPの内容の定期的な見直しをおこなっていく。

(4) 地域の福祉課題解決に向けた新規事業の検討

成果・幹部会議での新規事業（案）の検討をおこなってきた。

・よりみちにおける各種活動を継続（いきいき百歳体操：48回 その他法人企画イベント：4回 地域住民会合利用：8回 地域住民サークル利用：3回）。これをきっかけとした日常生活および地域課題の相談窓口としての認知が拡大してきている。（運営推進会議・いきいき百歳体操・・・）

・職員参加型プロジェクトの定期開催（月一回）と当該プロジェクトにおける法人第3期中期事業計画への落とし込みに向けた原案作成を継続中。

課題・吸い上げた地域課題を参考とし松本市第9期介護保険事業計画策定期間に間に合わせる形で新規事業案の具体化をおこなっていく。

以上